

(@_@) 圧倒 水瀑

日光 雲竜溪谷

実施日 2019年1月19日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 瀧澤 きよの
 参加者 小名秀鋭、瀧澤きよの、峯川弘子 計3名
 費用 5,460円(浅草起算) 車1,630円
 タイム 東武日光駅(8:25~8:30)ゲート(9:00)登山口(9:15)雲竜溪谷分岐(12:14)堂門岩(12:40)雲龍階段(14:15)雲竜溪谷(14:25~14:30)登山口(16:30)ゲート(16:40)東武日光駅(17:10)

雲一つない東武日光駅からタクシーで瀧尾神社経由ゲート迄行く。タクシーの運転手は「暮から雨、雪が全然降ってないし、初めて雲竜溪谷の客だ」と言う事です。暖冬だと言うが、まるで夏山です。

全然寒く無い。ヤマレコ14日のレポートはまーまーの水瀑らしい。今日はアイスクライミングの練習もあるというのですが。車はバラバラ駐車です。一般登山者こぶし会含み7人のみ。

ハイキング道or稲荷川沿い行くかで検証。こぶし会川沿いへ。



橋を渡り、ハイキングコースです。女峰山が青空に美しい。堰巻き河原歩き左への雲竜溪谷への指導標へ行かず、真っ直河原を渡渉し夫婦の方とあった時は行ったとガイドの方からの話も参考に進むが、雪が少ない為歩行困難。

渡渉時、Mさん滑り、大事に至らず良かった。川の上の宗教施設を後

にハイキング道から堂門岩で昼食。暑い。もうアイスクライミングの方は下ってきます。



堂門岩から河原急登歩き30分も雪不足で渡渉は時間がかかるし、「水瀑が落ちてくるので、奥へは、行かない方がいい」

と聞き迷わずハイキング道を進む。写真を撮り、ハイキング道に進みます。

雪が出急登の林道はシンドイ。ようやく、有名な階段の上です。

ヘルメット、アイゼン装着。階段を降り雲竜溪谷へ。まーまーの水瀑です。

青い水瀑は美しい。渡渉もアイゼン装着で、ストックでポンポン渡れます。

本瀑の水が崩れ落ちる音が聞こえます。途中ですが、回りの水瀑に満足です。

写真を撮り退散。階段も、アイゼン装着で下りは楽々。



日光駅で反省会をし、雪のあると、無いでの違い、ハイキング道の意外ときつい急登。色々な意味で三人はまとまりやすい。B型3人組でした。又、この河原歩き渡渉を本瀑まで行って観たいです。その時は宜しくお願いします。

(記&写真・瀧澤 きよの)

(写真提供・峯川弘子)